

会社概要

2018年6月30日現在

商号	ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
上場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	80億8百万円
事業内容	製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする 各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 12,984名 (単体) 1,158名
連結子会社	国内17社 海外35社(合計52社)

役員

2018年6月30日現在

代表取締役会長	坂本 精志	取締役	落合 伸一
代表取締役社長	小林 靖浩	取締役	古川 義朗
専務取締役	本郷 正己	取締役	世古 義彦
常務取締役	川井 秀樹	取締役(監査等委員)	北垣戸 弘充
常務取締役	丸山 暁	取締役(監査等委員)	元松 茂
取締役	小倉 大造	取締役(監査等委員)	柘植 里恵
取締役	尾崎 司		

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出
 ください。
- 未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ
ホシザキグループ
報告書

第73期 | 第2四半期累計期間
 (2018年1月1日～6月30日)



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課
 TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

売上高・営業利益ともに 7期連続の過去最高更新を目指す。



代表取締役会長

坂本 精志



代表取締役社長

小林 靖浩

存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

当第2四半期累計期間の業績

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復いたしました。また、個人消費は持ち直しの動きが見られ、消費者物価が緩やかに上昇し、設備投資は緩やかに増加いたしました。海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きが見られました。一方、中国では景気は持ち直しの動きが見られたものの、依然先行き不透明な状況で推移しました。また、為替は総じて円高傾向で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組まれました。当期においては、多様な製品を含む物件の受注増加が増収に貢献したことに加えて、オフィス、工場、学校・保育園、宿泊施設等の飲食店以外のお客様の顧客開拓が順調に進みました。また、海外においては、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、冷蔵庫・食器洗浄機等の主力製品の販売が好調に推移すると同時に、欧州、インドでは、前期の一過性の収益マイナス要因が収束し、業績は好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の連結業績は売上高が前年同期比4.4%の増収、営業利益は同6.2%の増益と、共に過去最高となりました。尚、平成27年6月に当社グループの中国法人を通じて、中国の業務用冷蔵庫メーカーである浙江愛雪制冷电器有限公司の持分51%を取得しましたが、平成30年6月末をもって、同社の持分全てを譲渡いたしました。

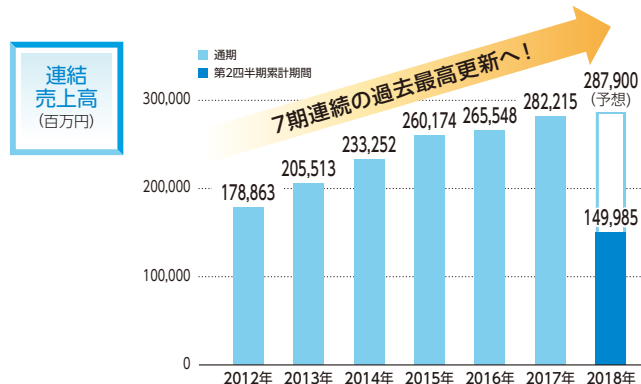
通期の業績見通し

通期の業績予想については、当初の予想通り、売上高2,879億円（前期比2.0%増）、営業利益は361億円（同0.1%増）と、7期連続での過去最高の維持を見込み、この達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

国内においては、7月以降の猛暑効果はあったものの、前期の食器洗浄機大口受注の大幅な縮小、西日本豪雨等の天候不順、人手不足に起因するフードサービス産業の設備投資抑制等、海外においては米中貿易戦争及び主要国の金融緩和の段階的縮小等による新興国の景気停滞等、為替動向も含めて経済の不透明さが高まっており、下期以降も厳しい事業環境が続くことが予想されます。こうした事業環境においても、当社グループは将来に向けた投資は継続しつつ、収益性の高い既存市場の丁寧な深掘りに加えて、原価及び販売管理費等のコスト削減等に努め、通期ベースでは確実に増益を確保したいと考えております。

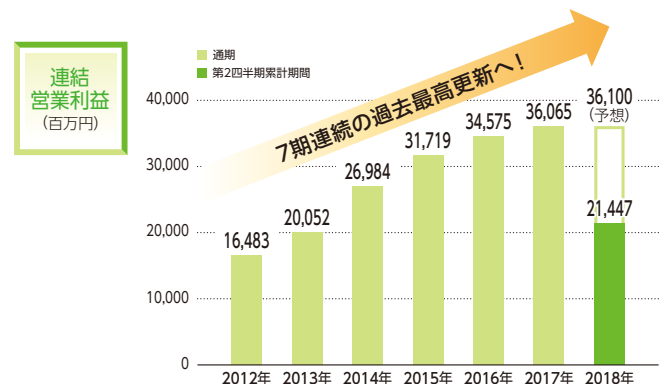
下期以降の取り組み

下期以降は、既述の環境変化に柔軟に対応しつつ、期首に掲げた諸施策を確実に進め、来期以降取り組む戦略について、しっかりと準



備を進めていきたいと思っております。当社グループは現在、5ヵ年（2016-2020）での達成を目指す5ヵ年経営ビジョンの3年目を迎えておりますが、ビジョン策定時の為替想定（1ドル=123円）からの円高分を考慮しますと、現在ほぼ計画線上で達成できております。一方、国内、海外の市場環境の不透明さ（停滞の可能性）、継続的な材料費及び人件費の上昇等を考慮しますと、今後、特に利益成長の難易度が上がることは間違いありません。よって、当社グループは、環境変化に柔軟に対応し、増加基調のコストを確実に吸収できる「強い企業体質の構築」に従来以上に積極的に取り組んでいきます。具体的には、国内、海外において、積極的な新規市場の開拓（新規エリア、顧客開拓及びコスト競争力の高い製品ラインアップの強化）、営業部門における生産性改善（IT等の積極的な活用と働き方改革の実現）、製造部門における生産性改善と原価低減強化（開発初期からの原価ダウン活動強化による新製品の採算性改善）、内部統制の強化等に従来以上に力を入れていく所存です。また、企業買収（M&A）につきましても、明確な買収及び撤退基準の下、より積極的な案件開拓を目指します。

株主の皆様には、今後とも、「フードサービス業界の世界No.1」実現に向けたホシザキグループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。



製品の開発・拡販等の事業活動にとどまらず、広く社会・環境への貢献にも努めています。

1

スイングアップ無しで出し入れ可能なエコフィルターを搭載 冷蔵庫Aシリーズ登場

国内

省エネ
×
使いやすさ

2018年5月より、お客様の声をカタチにし、さらに使う人に寄り添った冷蔵庫「Aシリーズ」の販売を開始しました。

■ 製品の特長

- 1 デザイン性の向上**
製品上端を傾斜させて製品をコンパクトに見せるフロントパネル搭載等
- 2 エアフィルターの使い勝手向上**
エアフィルターの出し入れや交換タイミングの把握方法等に工夫
- 3 省エネ性向上**
断熱性能の向上や、運転状況に応じた適切な霜取を自動で行う機能を搭載
- 4 サービス性向上**
エラーを細分化し、異常原因の絞り込みが容易に



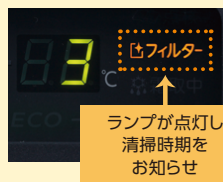
Aシリーズ

フロントパネルを開けずにエアフィルターを取り出せる構造



業界初!

掃除タイミングの目安としてエアフィルターランプの点灯機能を追加



ランプが点灯し
清掃時期をお知らせ

2 大規模災害発生時の支援

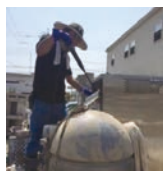
国内

今年発生した「平成30年7月豪雨」等、大規模な災害が発生した際には、グループで力を結集し、当社製品をご使用のお客様だけに限らず、製品の故障診断や再設置、被災地への自社製品の貸し出し、義援金の送金等、多方面より復興支援を実施しています。

■ 平成30年7月豪雨



ガス回収作業の様子



洗浄作業の様子

災害復旧に携わる支援者の熱中症防止を目的に製氷機を貸し出し

主な貸出先

- 広島県呉市 2台
- 岡山県倉敷市 3台
- 愛媛県大洲市 3台



貸し出した製氷機

1

中国市場での製氷機受注増加

海外

中国市場における当社製氷機の受注が増加しています。昨今、上海及び中国の各地では、コーヒーの販売チェーン店だけではなく、ミルクティーのチェーン店が人気を博しています。そのような人気チェーン店を中心にホシザキの大形製氷機が導入されており、シェア拡大に一役買っています。



KMD-270AWA

IM-220AWA

2

展示会から海外市場を開拓

海外

HOTELEX
SHANGHAI
2018(上海)
2018年3月26日
▶▶ 29日



FHA2018
(シンガポール)
2018年4月24日
▶▶ 27日



海外で新たなお客様を獲得する機会として、展示会は大きなチャンスです。最近では上海とシンガポールの展示会に出展し、趣向を凝らしたブースで当社の魅力を訴求しました。

3

ホシザキアメリカが7年連続でエナジースターアワードを受賞

海外

ホシザキアメリカは、米国環境保護庁が定める省エネルギー制度に基づいたエナジースターアワードを2012年以降7年連続で受賞しました。なお、2015年以降は、エナジースターアワードの中でも最高位の賞である「ENERGY STAR Sustained Excellence Award」として4年連続で受賞しています。今後も環境負荷低減等を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

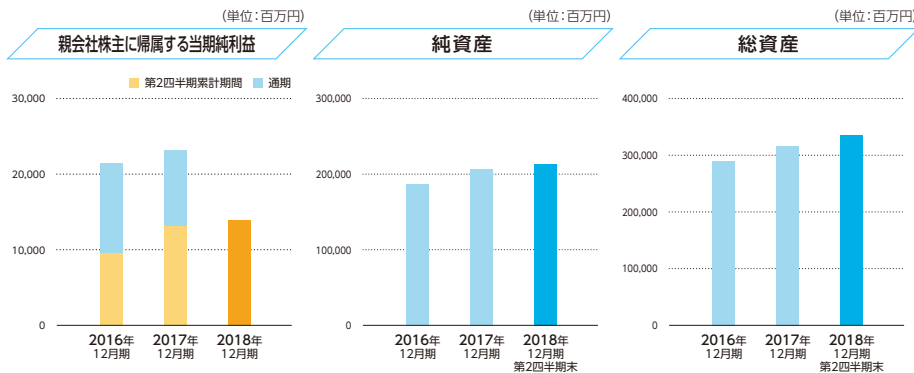
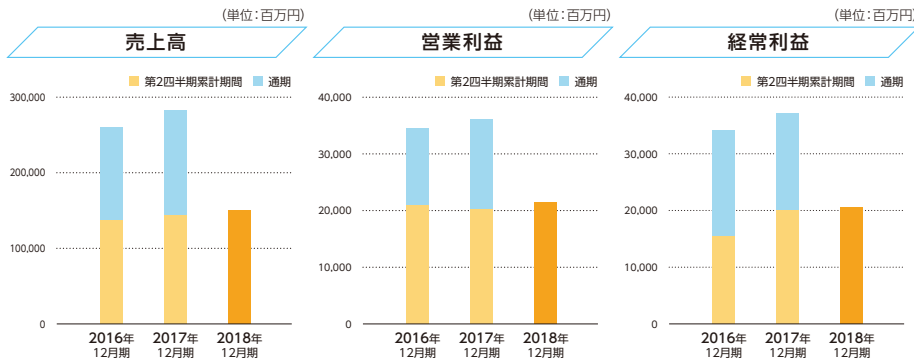
エナジースターの
受賞トロフィー



連結財務ハイライト

(単位：百万円)

	2016年12月期		2017年12月期		2018年12月期
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間
売上高	137,471	265,548	143,731	282,215	149,985
営業利益	20,907	34,575	20,197	36,065	21,447
経常利益	15,395	34,140	20,070	37,086	20,591
親会社株主に帰属する当期純利益	9,523	21,430	13,180	23,144	13,964
純資産	173,961	187,179	195,033	206,900	213,245
総資産	280,233	289,967	315,277	316,637	334,816



営業概況

事業環境

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復しました。また、個人消費は持ち直しの動きが見られ、消費者物価が緩やかに上昇し、設備投資は緩やかに増加しました。

海外においては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きが見られました。一方、中国では景気は持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、為替は総じて円高傾向で推移しました。

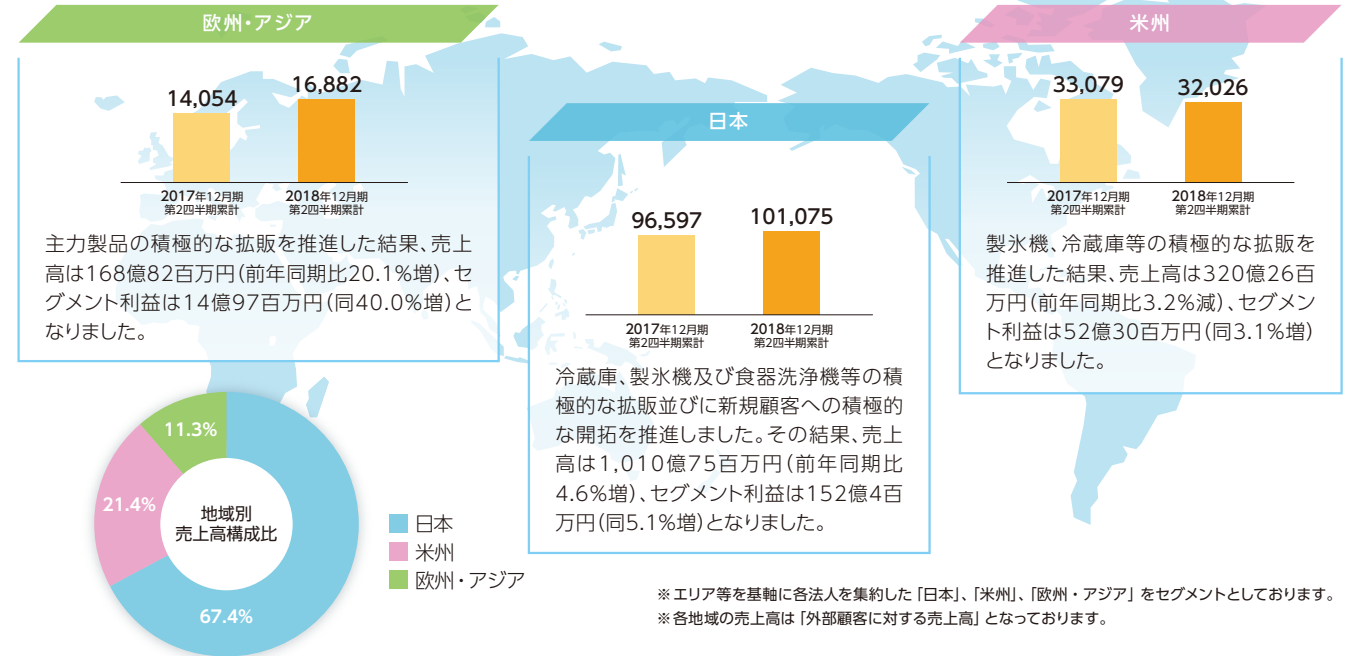
業績・成果

このような環境の中、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,499億85百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益214億47百万円(同6.2%増)、経常利益205億91百万円(同2.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、139億64百万円(同6.0%増)となりました。

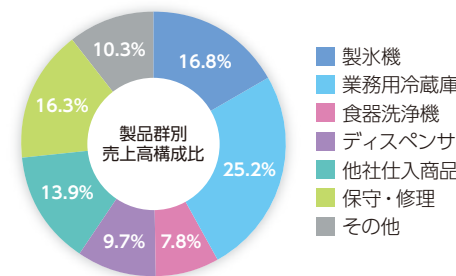
地域別売上高

(単位：百万円)



製品別売上高

(単位：百万円)



	2017年12月期 第2四半期累計	2018年12月期 第2四半期累計
製氷機	25,109	25,168
業務用冷蔵庫	35,457	37,815
食器洗浄機	12,083	11,755
ディスペンサ	15,126	14,613
他社仕入商品	17,763	20,862
保守・修理	23,589	24,393
その他	14,600	15,374
合計	143,731	149,985

1 流動資産

受取手形及び売掛金、現金及び預金が増加したことから、流動資産は前期末比202億25百万円増加し、2,747億56百万円となりました。

2 固定資産

有形固定資産が減少したことから、固定資産は前期末比20億46百万円減少し、600億59百万円となりました。

3 資産合計

固定資産が減少した一方で、流動資産が増加したことから、資産合計は前期末比181億78百万円増加し、3,348億16百万円となりました。

連結貸借対照表

	当第2四半期末 2018年6月30日現在	前期末 2017年12月31日現在	増減額
資産の部			
1 流動資産	274,756	254,531	20,225
現金及び預金	194,110	187,224	6,886
受取手形及び売掛金	41,025	30,261	10,763
商品及び製品	14,339	16,079	△1,739
仕掛品	3,994	3,338	655
原材料及び貯蔵品	9,326	9,132	193
その他	12,089	8,640	3,448
貸倒引当金	△128	△145	17
2 固定資産	60,059	62,106	△2,046
有形固定資産	44,333	45,775	△1,442
無形固定資産	5,901	6,835	△933
投資その他の資産	9,825	9,495	330
3 資産合計	334,816	316,637	18,178

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2018年6月30日現在	前期末 2017年12月31日現在	増減額
負債の部			
流動負債	98,526	86,720	11,805
支払手形及び買掛金	18,987	16,893	2,094
未払法人税等	7,797	4,925	2,872
賞与引当金	4,352	3,427	924
その他引当金	1,704	1,664	39
その他	65,685	59,810	5,874
固定負債	23,044	23,016	28
退職給付に係る負債	17,509	17,298	210
その他引当金	1,324	1,565	△240
その他	4,210	4,152	57
負債合計	121,571	109,737	11,833
純資産の部			
株主資本	214,906	205,981	8,924
資本金	8,008	7,993	14
資本剰余金	14,530	14,516	14
利益剰余金	192,370	183,475	8,895
自己株式	△4	△3	△0
その他の包括利益累計額	△3,195	△1,014	△2,180
その他有価証券評価差額金	225	313	△88
為替換算調整勘定	△1,721	463	△2,185
退職給付に係る調整累計額	△1,698	△1,791	92
非支配株主持分	1,534	1,932	△398
純資産合計	213,245	206,900	6,345
負債純資産合計	334,816	316,637	18,178

4 流動負債

未払法人税等、支払手形及び買掛金が増加したことから、流動負債は前期末比118億5百万円増加し、985億26百万円となりました。

5 固定負債

退職給付に係る負債が増加したことから、固定負債は前期末比28百万円増加し、230億44百万円となりました。

6 負債合計

流動負債、固定負債がともに増加したことから、負債合計は前期末比118億33百万円増加し、1,215億71百万円となりました。

7 純資産

為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことから、純資産は前期末比63億45百万円増加し、2,132億45百万円となりました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 2018年1月1日～ 2018年6月30日	前第2四半期累計期間 2017年1月1日～ 2017年6月30日	増減額
売上高	149,985	143,731	6,253
売上原価	92,368	87,490	4,878
売上総利益	57,616	56,241	1,375
販売費及び一般管理費	36,169	36,043	126
営業利益	21,447	20,197	1,249
営業外収益	891	867	24
受取利息	627	421	206
その他	263	445	△181
営業外費用	1,747	994	753
支払利息	34	39	△4
為替差損	1,640	904	736
その他	72	50	21
経常利益	20,591	20,070	520
特別利益	8	4	3
固定資産売却益	8	4	3
特別損失	261	24	236
関係会社出資金売却損	248	—	248
その他	13	24	△11
税金等調整前四半期純利益	20,338	20,051	286
法人税、住民税及び事業税	9,741	10,468	△726
法人税等調整額	△3,469	△3,688	219
法人税等合計	6,272	6,779	△507
四半期純利益	14,065	13,271	794
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	91	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,964	13,180	784

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 2018年1月1日～ 2018年6月30日	前第2四半期累計期間 2017年1月1日～ 2017年6月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,687	19,407	△1,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,554	△8,209	41,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,959	△4,726	△233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△596	41	△638
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,685	6,512	39,173
現金及び現金同等物の期首残高	49,906	53,733	△3,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,592	60,245	35,346

8 売上高

フードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組み、海外では米国を中心に主力製品の拡販に努めた結果、売上高は前年同期比4.4%増の1,499億85百万円となりました。

9 経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、経常利益は、前年同期比2.6%増の205億91百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.0%増の139億64百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは176億87百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(203億38百万円)などによるものです。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは335億54百万円の収入となりました。これは主に、定期預金の純増による収入(367億96百万円)などによるものです。

13 現金及び現金同等物の四半期末残高

投資活動によるキャッシュ・フローの収入増の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前年同期末に比べ353億46百万円増加し955億92百万円となりました。

株式関連情報

(2018年6月30日現在)
Stock Information

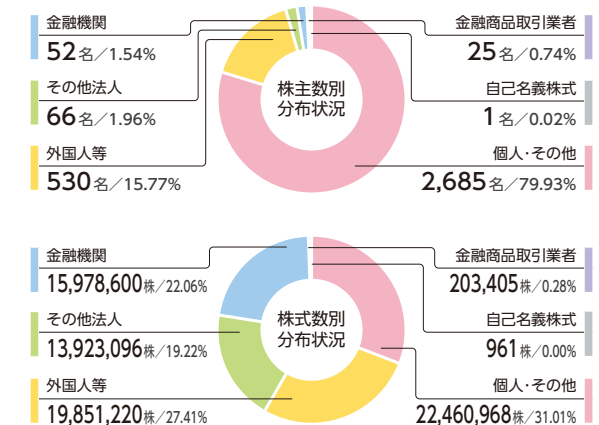
株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,418,250 株
株主数	3,359 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,168	4.37
ホシザキグループ社員持株会	2,708	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,244	3.09
真木 薫	1,757	2.42
稲森 美香	1,690	2.33
真木 豊	1,670	2.30
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	1,443	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,211	1.67

株式分布状況



国内外ネットワーク

(2018年6月30日現在)
Domestic and Overseas Network

ホシザキ株式会社

- 本社/愛知県 豊明市
- 島根本社工場/島根県 雲南市

国内グループ会社

- ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市
- ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市
- ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市
- ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区
- ホシザキ東京株式会社/東京都 港区
- ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市
- ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市
- ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋
- ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
- ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
- ホシザキ北九州株式会社/福岡県 福岡市
- ホシザキ南九州株式会社/鹿児島県 鹿児島市
- ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
- 株式会社ネスター/愛知県 大府市
- サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市

海外グループ会社

- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
- HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- Jackson WWS, Inc./米国
- LANCER CORPORATION/米国
- LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD./豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- Lancer Europe/ベルギー
- Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル
- Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク
- GRAM UK LTD./英国
- Western Refrigeration Private Limited/インド
- Western Coolers and Freezers Private Limited/インド
- HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ
- HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD./シンガポール
- HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム
- PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア
- HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン
- 星崎香港有限公司/香港
- 星崎(中国)投資有限公司/中国
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- 台湾星崎股份有限公司/台湾
- Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国